

## 第40回文化財の虫菌害・保存対策研修会 ― 予防 ―

文虫研発第H30-16号

平成30年5月10日

主催 公益財団法人 文化財虫菌害研究所

後援 文化庁（申請中）

時期 平成30年7月5日（木）、6日（金）

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
カルチャー棟 小ホール（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

対象 一般の文化財保存管理者をはじめ、博物館・美術館・図書館・資料館・文書館等において展示・収蔵品や資料等の保存管理する担当者、文化財に関する生物被害防除業務に携わる方、平成29年度実施の「第7回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会と試験」を受講し試験に合格した方、資格登録更新のために受講が必要な方、今後1年以内に「文化財IPMコーディネータ」資格取得のために受講受験を考えている方、その他

申込先 公益財団法人文化財虫菌害研究所 研修会申込受付係  
〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目1番8号  
新宿フロントビル6階  
TEL 03-3355-8355 FAX 03-3355-8356

受講料 28,000円  
当研究所維持会員（団体会員所属役職員も含む） 25,000円

申込方法 「参加申込書」（別紙）に所定事項を記入し、受講料を添えて、現金書留で送付ください。銀行振込を利用される方は「参加申込書」はFAXで送信し、下記に振込みをお願いします。事務処理上、当日の会場での現金納入はご遠慮ください。なお、納入された受講料は原則として理由のいかんにかかわらず、返却いたしません。

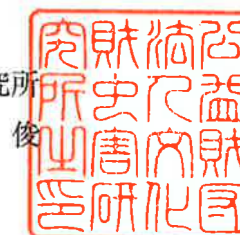
### 【振込先】

- ① 三菱UFJ銀行 新宿支店（店番341）（普）0194785  
公益財団法人文化財虫菌害研究所
- ② ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）  
〇一九店（ゼロイチキユー店、店番：019）（当）0060430  
（払込取扱票をご利用の場合 口座番号 00130-9-60430）  
公益財団法人文化財虫菌害研究所  
振込依頼人欄には団体名（会社名）と受講者名を記入してください。

申込期限 平成30年6月20日（水）必着  
※会場の定数に達した場合は、期限前でも申し込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

各位

公益財団法人 文化財虫菌害研究所  
理事長 三浦定俊



## 「第40回文化財の虫菌害・保存対策研修会」の開催について

当研究所の定例事業として毎年度開催しております標記研修会を、本年度は次のとおり実施いたします。

本研修会は、一般の文化財保存管理者をはじめ、博物館・美術館・図書館・資料館・文書館等において展示・収蔵品や資料等の保存管理する担当者、文化財に関する生物被害防除業務に携わる方等を対象としております。

今年度は、「予防」をテーマとし、資料を保存する上で必要な「虫やカビの予防」、「防菌防黴」、自然の中に置かれている建物の「獣害の予防」事例、その他資料への光の影響、展示室内の照明の演出に関することなど、さまざまな分野の豊かな経験をお持ちの講師を招いて講義をいただきます。

また、本研修会は「文化財IPMコーディネータ」資格取得の要件としており、平成29年度実施の「第7回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会と試験」を受講し試験に合格した方、資格登録更新のために受講が必要な方、今後1年以内に「文化財IPMコーディネータ」資格取得のために受講・受験を考えている方も対象としております。

関係者多数ご参加くださるようご案内申し上げます。

# 第40回 文化財の虫菌害・保存対策研修会 — 予防 —

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

この研修会は、国民共有の文化的遺産である文化財保護を目的とし、文化財を所有・管理する博物館、美術館職員をはじめとする広く一般の方々を対象として開催しているものです。

## 7月5日(木)

10:00 開講の辞

10:05~11:05 文化財 IPM と予防

文化財 IPM では被害の予防を重視します。しかし予防を文化財 IPM の目的と考えることは誤りです。資料を保存するために、文化財 IPM では予防から駆除にいたる一連の対策を見通した上で、施設や資料の状況を踏まえて作業を進めます。状況に応じてどんな予防対策をとれば良いか、ここではその要点についてお話します。

公益財団法人 文化財虫菌害研究所 理事長 三浦 定俊

11:05~11:15 休憩

11:15~12:15 カビの予防と防菌防黴

微生物といった場合、菌とカビは異なります。文化財周辺での菌とカビはどのような分布、さらに汚染するかとめます。また予防に関して様々な用語が使われていますが、誤解されていることも多いので正しく理解していただくために抗菌・抗カビ、殺菌・殺カビ、防菌防黴などについて解説し、カビによる被害を防止するための大切さについてお話します。

NPO 法人 カビ相談センター 理事長 高鳥 浩介

12:15~13:30 昼休み

13:30~14:30 さまざまな展示施設の空間デザインと虫菌害の予防について

文化財資料等を「保存展示」する空間や展示ケース。これらを提供する業者としての視点から IPM に対する取り組み、社内情報の共有の一端をご紹介します。

株式会社乃村工藝社 プロダクトセンター  
プロダクトソリューション総括部 設計部 小沢 一実

14:30~14:45 休憩

14:45~15:45 資料への光の影響と展示照明技術の動向について

本講義では、光による資料の変退色等を抑制し、かつ鑑賞の質を維持するための光源の選択や照度管理について解説します。また、展示照明への導入が進んでいる白色 LED 照明の現状についても、併せて取り上げます。

東京文化財研究所 保存環境研究室長 吉田 直人

## 7月6日(金)

10:00~11:00 展示室内の環境保全について

東京国立博物館で近年改修、新規製作した展示室、展示ケースの事例を素材として、展示室における環境保全に対する取り組みについてお話します。また、資料保存の側面だけでなく、照明器具の開発や展示演出に対する考え方や取り組みを含めた総合的な内容もお話いたします。

東京国立博物館 学芸研究部 保存修復課 環境保存室長 和田 浩

11:00~11:15 休憩

11:15~12:30 施設における害虫の発生、侵入の把握について

—効果的なトラップの仕掛け方など—

施設で害虫が発生しているか、侵入してきているかを的確に把握することは、被害の早期発見や予防のために重要です。そのためには、適切な道具を選択し、効果的に使用する必要があります。ここでは、昆虫調査で多用されるトラップを例に取り上げ、昆虫の生態を考慮した効果的な仕掛け方や考察の仕方を紹介します。

公益財団法人 文化財虫菌害研究所 研究員 岩田 泰幸

12:30~13:30 昼休み 展示見学

13:30~14:30 建物の保存と虫菌害および獣害予防対策事例について

江戸東京たてもの園は、30棟の復元建造物を園内に復元した野外博物館です。展示物が自然の環境下にあるため、通常の博物館とは異なった虫菌害の対応についてご紹介します。

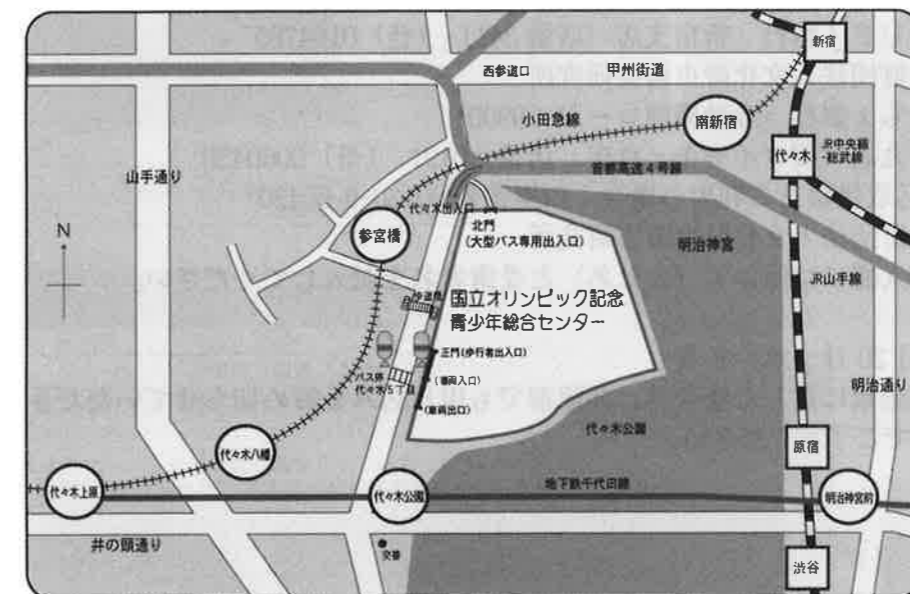
東京都江戸東京博物館 事業企画課 資料係 眞下 祥幸

14:30~15:30 新潟県立歴史博物館における IPM 実施事例について

新潟県立歴史博物館では、平成17年度から本格的に IPM に取り組んできました。その概要と虫・カビに関する具体的について紹介します。

新潟県立歴史博物館 主任研究員 三国 伸一

## 国立オリンピック記念青少年総合センター



- 小田急線  
参宮橋駅下車  
徒歩約7分
- 地下鉄千代田線  
代々木公園駅下車  
〔代々木公園方面出口〕  
徒歩約10分
- 京王バス  
新宿駅西口(16番)より  
渋谷駅西口(14番)より  
〔代々木5丁目下車〕